

2020年1月15日

踏切と～まれ！

『厳寒季の踏切事故防止キャンペーン』を行います！

JR北海道では、1月21日から1月30日まで、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の防止を図るため「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

これから本格的な厳寒季を迎えるにあたり、道路はますます滑りやすい状態になることが想定されます。そこで「厳寒季の踏切事故防止キャンペーン」では、社員及び交通関係協力団体による踏切・駅頭での啓発活動などを通して「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」「早めのブレーキとスピードダウン」など、踏切での安全通行をドライバーに呼びかけます



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2020年1月21日(火)から1月30日(木)までの10日間

■実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ ラジオCMの放送
- ・ 列車内ポスター掲出による呼びかけ
- ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 関係機関・企業及び各団体等への呼びかけ
- ・ 札幌駅西改札前でのデジタルサイネージによる踏切事故防止の呼びかけ

<2019年度の踏切事故>

2019年度の踏切事故は、1月13日時点で2件発生し、昨年度と比較すると1件の減少となっています。

- ・ 6月15日 函館線 発寒～発寒中央 小屋敷踏切で乗用車と列車が衝撃しています。
- ・ 1月 3日 根室線 新得～十勝清水 地蔵踏切で自動車が踏切手前で止まりきれず、特急列車と衝撃しています。※事故当時、道路路面はアイスバーン状態でした。